

1 第206回国会概観

1 第49回衆議院議員総選挙

第205回国会開会中の令和3年（2021年）10月14日、岸田内閣の下、衆議院が解散された。

これを受けて、第49回衆議院議員総選挙が同19日に公示され、同31日に執行された。

総選挙の結果、自由民主党は前回を下回ったものの261議席を獲得し、衆議院の単独過半数233を大きく上回り、連立与党であった公明党は32議席を得て議席を増やした。野党第一党であった立憲民主党は、改選前から議席を減らし96議席となった。一方、日本維新の会は前回の4倍近くの41議席を得て、議席を大幅に増やした。また、国民民主党は11議席を得て改選前より議席を増やしたが、日本共産党は10議席を得たものの前回を下回った。れいわ新選組は3議席、社会民主党は1議席を得た。

今回の選挙の全国平均投票率は、小選挙区55.93%、比例代表55.92%であった。これは、前回（平成29年10月）及び前々回（平成26年12月）の総選挙より上回ったものの、戦後3番目の低投票率となった。

11月1日、自由民主党及び公明党は、連立政権の継続を確認し、合意文書に署名した。

翌2日、立憲民主党の枝野代表は、改選前の議席を下回る結果となったことを受け辞意を表明し、同12日に辞任した。その後、同30日に泉健太衆議院議員が立憲民主党の新代表に選出された。

2 会期及び活動等の概要

（召集・会期）

第206回国会（特別会）は、10月31日に行われた第49回衆議院議員総選挙を受け、11月10日に召集された。会期は、衆参両院の本会議において、同12日までの3日間とする旨議決され、同12日、参議院議場において開会式が行われた。

（院の構成）

参議院では、召集日当日の本会議で議席の指定が行われた後、5常任委員長（経済産業、国土交通、環境、基本政策、行政監視）の辞任及び選挙、7特別委員会（災害対策、沖縄・北方、倫理選挙、拉致問題、ODA、地方消費者、震災復興）の設置が行われた。

衆議院では、召集日当日の本会議で、議長及び副議長の選挙が行われ、議長に自由民主党の細田博之君が、副議長には立憲民主党・無所属の海江田万里君が当選した。また、同日、議院運営委員長の選挙が行われた。翌11日には、議院運営委員長を除く各常任委員長の選挙が行われたほか、9特別委員会（災害対策、倫理選挙、沖縄北方、拉致問題、消費者問題、科学技術、震災復興、原子力、地方創生）の設置等が行われた。

（内閣総理大臣の指名）

召集日当日、両院の本会議において内閣総理大臣の指名が行われ、いずれにおいても、投票の結果、岸田文雄衆議院議員（自由民主党総裁）が指名された。

内閣総理大臣の指名を受け、同日、自由民主党及び公明党の連立による第2次岸田内閣が発足した。

（活動等の概要）

今国会中、衆議院議員提出法律案1件が新規に提出され、衆議院で継続審査となった。

内閣総理大臣の所信表明演説は行われなかった。

請願は、会期が短いため、受け付けなかった。

会期末の11月12日、衆参両院の本会議で閉会手続が行われた。

（新型コロナウイルス感染症対策）

参議院における新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き、本会議や各委員会において、議員同士の間隔を広げて着席する等の対応を行った。

また、参観等については引き続き人数制限や検温の実施等の条件のもとで実施するなど、様々な措置が継続して採られた。